

## 画期的!「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」が可決!

議会の概要として可決された意見書は、国へ送付されました(3月議会)。2020年7月時点で、全国131市町村議会がこの意見書が可決されています。  
 社は「国の人権」であり、世界の主流は「選択的別姓」。法律

で別姓が決められているのは日本だけです。姓の変更でパスポート、各種保険、クレジットカードの名義書き換えなど、膨大なエネルギーを必要とします。  
 別姓が選べれば、社会的キャリアも連続できません。選択的夫婦別姓は、あくまで「選択制」であり、別姓を強要するものではありません。  
 個人の選択で誰もが生きやすくなる社会になるといいですね。

**これから結婚する皆さん!  
どちらがいいですか?**

**どちらかが必ず改姓する制度**

改姓する・しないを選べる制度

名前の自由

自分の生きたいように

両方にしなげれば結婚できないは、昔から日本では、

①日本の法律は、何れも改姓を強制していません。  
 ②改姓は本人、配偶者、親族の同意が必要で本人が望む場合は、改姓の自由があります。  
 ③本人が改姓を望まない場合は、改姓する必要はありません。  
 ④本人が改姓を望む場合は、改姓の自由があります。本人が改姓を望まない場合は、改姓する必要はありません。  
 ⑤改姓は本人、配偶者、親族の同意が必要で本人が望む場合は、改姓の自由があります。  
 ⑥改姓は本人、配偶者、親族の同意が必要で本人が望む場合は、改姓の自由があります。

⑦改姓の自由は「子と母は1」その他の別姓はこれからへ。

結婚は、お互いが望むと名前。選べる制度に変えませんか?

## アフターコロナ、ポストコロナ 雇用創出や経済成長を達成し、 気候危機にも立ち向かう

～命と暮らしをおびかす「2つの危機」からの回復～  
 いま、社会は、命と暮らしをおびかす「2つの危機」に  
 対峙しています。

1つめは、新型コロナウイルスによる危機。  
 2つめは、9月の台風で明らかなるように、地球温暖化の影  
 響による自然災害などの気候危機です。  
 新型コロナウイルスでの活動自粛により、私たちは大気汚染の改善

や、川や海など自然の回復を目の当たりにしました。  
 大切なのは、人と人との支えあいであり、自然と人間との  
 調和であると再認識いたしました。

いま、「以前よりも、より良い社会を創ろう」という機運が  
 高まっています。  
 打撃を受けた経済再生に向けては、CO2削減など環境対  
 策を通じて気質浮揚につなげる「グリーンリカバリー」も  
 注目されています。  
 北九州市で進んでいる洋上風力発電の建設は、まさに「グ  
 リーンリカバリー」そのものです。  
 新しい経済戦略に向け、村上さとこも力を尽くしてまい  
 ります。

待ったなしの市民生活

収入減、支出増、食費の支出増...  
コロナでみんな出っかっています。

最大9か月まで実質  
補助となる生活保護保  
給付金や、返済免除特  
別つきの生活福祉資金  
金、新卒者の奨学金の口  
貸付など、申請が相次いでいます。  
 10万円の特別定額給付金の申請率は全世帯の99.4%です。  
 事業者は努力を重ねて感染応対策を行っていますが、経営  
 は逼迫しています。未だに大変な状況です。  
 さらなる給付を国へ求めるとともに、市独自の政策の拡大に  
 つなげていきます。

誰ひとり取り残さない  
～すべて自身の経験から～

DVによる虐待、抑がれを持つ子ども  
 の子育て、訪問看護という仕事の中  
 で「誰もけのぼくセーフティネット」  
 ！いかに守られる社会が必要だと  
 実感しました。風や水や疫病を生きない、誰もが暮らしやすい地域のため  
 に、「小さな声」をあげ、皆様と共に歩いてまいります。

勤務先: 北九州市保健福祉センター第一庁舎 保健福祉推進課 保健課 福祉課  
 勤務先: 北九州市保健福祉センター第二庁舎 保健福祉推進課 保健課 福祉課

市民へのメッセージ、白々の名刺さとここと、お名前とお客先をください

〒806-0049 福岡県北九州市八幡西区1-18-26  
 ☎093-621-0480 📠murakamisato@office@gmail.com

2020年秋  
誰のとり  
取組

# 村上さとこ

## ニュース

北九州市議会議員(八幡西区・無所属)

新型コロナウイルス、台風と様々な災害が相次ぎます。  
 皆さまの健康とご安心を心よりお祈り申し上げます。  
 皆様へお話ししているため、2021年1月まで1期間の任期が満了して予定していた選挙区選出が延期されています。  
 誰もが暮らしやすい北九州のために、引き続き全力で、全力を尽くしてまいります。

## 「命を守る」と「社会生活の継続」の両立を

それにはPCR検査拡充が必要です。  
 2月の段階から検査拡充を求め、PCR検査センター設立や検査拡充に繋がりました。  
 質問回数NO.1! すべての議会、委員会で発言! 3～9月議会からその一部をご紹介します。

### コロナ禍での学びを守る 「登校選択制」

学校では定期消毒や手洗い、35人  
 以上の学級には飛沫防止デスク  
 シールドなど、感染防止が徹底さ  
 れています。  
 安心して登校できる状況ですが、  
 「本人や家族に基礎疾患がある」、  
 「感染に不安がある」場合は、登校  
 に慎重にならざるを得ません。「学  
 校での学び」「家での学び」、事情  
 に合わせどちらも選べる体制が必要  
 です。  
 そこで教育委員会に対し以下を要請

- 個人の事情や考えを尊重
- 登校を強制しない
- 家で学びを継続できる環境を整える

感染不安で休校した場合は「欠席  
 ではなく出席停止扱いになるこ  
 とを確認していますので、皆さま  
 どうぞご安心ください。

### 少人数学級の実現を

1クラス20人の分教登校実施で、  
 あらためて少人数学級の良さわか  
 りました。感染予防ときめ細か  
 い学習の両立をはかるため、少人  
 数学級の実現が必要です。

### コロナによる差別・偏見 誹謗中傷対策

新型コロナウイルスは非常に感染  
 力が強く、誰もが感染する可能  
 性があります。  
 また、誰もが無症状感染者かもし

れません。陽性者に対する非科学  
 の差別はありえず、「早く回復し  
 てね!何か手伝えることはない?」  
 と悪いやりを持ちたいものです。  
 市へは推進する北九州市としての  
 対策を求めた結果、市報での差別  
 特集や新聞広告の内容に反映され  
 ました。

「感染不安」を減らす  
「安心」を創る



これまでのすべての質問は  
こちらからご質問いただけます



そのほか  
多くの要望が  
実現  
いたしました!

北九州空港にサーモグラフィーを設置 / 市の広報からで  
 新型コロナウイルスの注意喚起 / 市の防災食料を国家防災に緊急  
 放出 / 子どもたちの豊下校の自決を導入(給 / 中卒手段とオンライン  
 フェスタを確保) / オンライン  
 学習の推進 / 感染防止対策と社会  
 福祉の両立を図るため、陽性者  
 に「顔のエチケット」のしおり配布など

今後もどんどん提案、実現していきます。

